

さくら第二学童クラブ、五小学童クラブ
たきあい学童クラブ、たけのこ学童クラブ
じゅんとく学童クラブ、万願寺学童クラブ
たかはた学童クラブ
保護者各位

日野市子育て課
子育て課長 滝瀬 祐介
(公印省略)

学童クラブの運営委託に係る保護者説明会について（報告書）

日頃より、日野市の学童クラブ事業にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

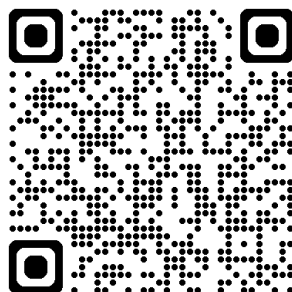
令和 8 年 4 月 23 日（木）に『さくら第二学童クラブ、たきあい学童クラブ、万願寺学童クラブ、たかはた学童クラブ民間活力導入（運営委託）に係る保護者説明会』を開催しました。ご多忙の中、ご参加いただきありがとうございます。

当日、保護者の皆様からいただきましたご意見、ご質問への回答等について、報告をさせていただきます。

今後とも、学童クラブ事業にご理解を頂きますようお願い申し上げます。

※下記の二次元コードをスマートフォン等で読み込んでいただくと、当日配布した資料およびアーカイブ配信を公開している WEB ページをご確認いただけます。別途、紙の資料が必要な方は、個別に学童クラブ職員にご相談ください。なお、アーカイブ動画の配信期間は、令和 8 年 6 月 30 日（火）までとなっております。ご了承ください。

【配布資料公開及びアーカイブ動画掲載ページ二次元コード（URL）】



日野市	子育て課
連絡先	514-8636（直通）
E-Mail:	jidouf@city.hino.lg.jp
担当	梅田・中里

さくら第二学童クラブ、たきあい学童クラブ、万願寺学童クラブ、たかはた学童クラブ 民間活力の導入（民間委託）に係る保護者説明会の報告

【実施日】

- ・令和8年4月23日（木）
- 参加者：33名

【主な質問】

運営・開所時間に関する Q&A

Q：公営と民営の運営時間の違いを教えてください。

A：現在の育成時間は、通常育成が17時45分まで、延長育成が18時30までとなっています。運営委託後は、最大19時までの育成が可能となります。また、土曜日の開所時間についても、現在の8時30分から8時に変更となります。

Q：職員の数は変わりますか。

A：現在、学童クラブは東京都及び国の指針に基づき、必要な支援員・職員を配置しており、民営委託後も変わらず、必要な職員数を配置いたします。なお、入所児童数による職員配置数の変更や介助員の配置数の変更は年度によって生じる場合がございます。

Q：自閉症など発達に特性のある子どもは環境の変化に不安を感じやすいです。これまで担当してくれた職員がいなくなることへの対応はどうなりますか。また、民間事業者の職員は固定ですか？入れ替わりがありますか？

A：引継ぎ期間（1月から3月）に、入所しているすべての児童について、お顔・お名前・性格・関わり方等について民間事業者へ丁寧に引継ぎを行います。これまで個別に職員が付いていたお子さまについては、委託後も引き続き職員を配置する予定です。担当職員が変わる可能性はありますが、配置体制は継続してまいります。

また、基本的には固定で職員の配置を予定していますが、休暇などの事情により、代替の職員が対応する場合もございます。

Q：入退出システムの導入予定はありますか。

A：順次、計画的な導入を検討してまいります。

Q：雷が鳴っているにも関わらず、学校から1年生が学童クラブまで移動させられたことがありました。危険な状況での移動を避けるような対応はできませんか。

A：危険が予測される場合は、児童を移動させないことも重要な対応の一つと考えています。悪天候時などの対応については、学校とも連携を図り、安全管理を最優先に取り組んでまいります。

施設・建て替えに関する Q&A

Q：運営委託とじゅんとく学童クラブの建て替え、たかはた学童クラブ・万願寺学童クラブの引越しとは関連がありますか。

A：今年度、じゅんとく学童クラブの建て替えを予定しています。それに伴い、学童クラブの引越しを行い、最終的には令和 10 年度からの運営開始に向けて、じゅんとく学童クラブ・たかはた学童クラブ・万願寺学童クラブの 3 施設を統合する計画があります。こちらについては、潤徳小学校区内の 3 つの学童クラブの保護者の皆様に、別途通知をお送りしております。

今回のじゅんとく学童クラブの建て替え及びそれに伴う、たかはた学童クラブ・万願寺学童クラブの引越しと、運営委託の対象となっている、たかはた学童クラブ・万願寺学童クラブへの民営委託は、直接の関連はありません。それぞれ別の経緯で進んでいるものです。

- ・建て替えについて：施設の老朽化や現在の潤徳小学校区域における児童の入所状況を踏まえ、このタイミングでの建て替えが必要と判断したものです。
- ・運営委託について：現在公営で残っている学童クラブを順次民営化していく全体方針のもと、令和 9 年度に、たかはた学童クラブ・万願寺学童クラブへの委託を進める方針としていたものです。

Q：さくら第二学童クラブの建て替え計画はありますか。

A：現時点で、すぐに建て替えを行う計画はございません。ただし、施設の老朽化への対応は必要と認識しており、今後は令和 6 年度に策定した日野市子育て支援施設個別施設計画に基づき、順次、必要な対応を進めてまいります。

情報提供・今後の対応について Q&A

Q：今回の説明会の資料は配布されますか。

A：紙での配布は予定しておりません。市のホームページに掲載しておりますので、そちらをご確認ください。

Q：今後の保護者会でも、民営委託についての説明はありますか。

A：各学童クラブの保護者会において、民営委託について個別に説明する予定はございません。ご不明な点やご質問がございましたら、子育て課まで直接お問い合わせいただきますようお願いいたします。

Q：民営化の計画は、子どもたちにはいつ伝えるのか

A：民営化に当たっては、おおむね年明けから引継ぎ期間として、民間事業者の支援員が学童クラブに入り、現在の職員とともに育成を行います。その際に子どもたちへ、来年度以降に職員が変わることや、民間事業者が運営を担うことをお伝えする予定です。

【エリアマネージャーからひと言】

● みさわブロックエリアマネージャー

【引継ぎ期間と方法について】

日野市の学童クラブのサポート体制

日野市では、市内を4つのエリアに分け、各エリアの「基幹型児童館」に、「エリアマネージャー」を1名ずつ配置しています。エリアマネージャーは、公営・民営を問わず、エリア内の学童クラブのサポート・事務処理・育成評価などを担っています。

新たに学童クラブを民間事業者へ委託する際は、エリアマネージャーがスケジュールを組み、日野市がこれまで培ってきた学童クラブの育成について丁寧に引継ぎを行っています。

3か月間の丁寧な引継ぎ

新しい事業者への引継ぎは、1月～3月の3か月間をかけて段階的に行われます。

時期	内容
1月～2月中旬	常勤職員を対象に、日野市の育成方針・マニュアル等を引継ぎ
2月中旬	新年度入所児童の保護者を対象とした入所説明会を実施(新事業者職員が主体となって説明)
2月中旬～3月	非常勤を含む全職員を対象に、施設ごとの具体的な育成方法や地域との連携について、公営職員が同席しながら実践的な引継ぎを実施
4月1日～	新事業者職員のみで、自信を持って育成をスタート

引継ぎ期間中から、公営職員も新事業者の方針を育成に取り入れ、子どもたちが環境の変化に少しずつ慣れていけるよう配慮しています。

子どもたちへの配慮

エリアマネージャーからは、特に以下の点を重点的に引き継ぐよう指示しています

- ・1年生・その保護者：入学と学童入所が重なる不安や疑問に、丁寧に対応ができるようにすること
- ・2年生以上：進級・クラス替えに加え、学童クラブの職員が全員入れ替わるという大きな変化があるため、情緒の安定と不安の軽減に特に注力すること

【4月1日までの子どもたちと新職員の交流について】

学校への挨拶

引継ぎ開始後、子育て課・基幹型児童館・新事業者の担当で、学校の校長先生へご挨拶に伺いました。

子どもたちへの説明

エリアマネージャーから、新職員の自己紹介とともに、子どもたちへ次の4点をお伝えしました。

- 1.これまでの学童クラブのことを、新しい先生へ丁寧に引き継ぐこと
- 2.三か月間、新しい職員と一緒に活動すること
- 3.新しい職員は学童クラブの経験はあるが、この学童クラブについては子どもたちの方が先輩であること
- 4.学童クラブや子どもたちのことを早く覚えたいので、ぜひ協力してほしいこと

子どもたちの様子

子どもたちは新しい職員に自ら話しかけ、名前を聞いて名札を作ってあげる姿や、一緒に遊びながら施設の使い方や遊具の遊び方を教えてくれる姿が見られました。子どもたちの順応力はめざましく、引継ぎ期間が進むに

つれて関係は深まり、新しい職員に甘える様子も見られるほど、暖かい交流が育まれました。

● あさひがおかブロックエリアマネージャー

【4月1日以降の様子について】

引継ぎ後も続く児童館によるサポート

日野市の学童クラブは、運営が民間事業者が変わった後も、引き続き基幹型児童館の分室として位置づけられています。そのため、館長やエリアマネージャーが定期的に各学童クラブを巡回し、何かあれば児童館・子育て課も一緒に対応するなど、継続的なサポート体制を整えています。

子どもたちの様子

あさひがおかブロックでは、昨年度より1施設が民間事業者による運営へ切り替わりました。引継ぎ期間中から新しい職員が少しずつ育成に加わり、子どもたちとの関係づくりを丁寧に進めてきたため、4月1日の切り替え後も、子どもたちが突然全員知らない職員に囲まれるという状況にはなりません。

それでも最初は多少の戸惑いもあったと思いますが、子どもたちはすぐに新しい環境に慣れ、その高い適応力に頼もしさを感じました。

また、例年、2・3年生が新1年生に学童クラブのルール（おもちゃの片づけ方、お弁当・おやつの並べ方）など、学童クラブの色々なことを教えてくれているのですが、4月から配属された民間事業者の職員にも、同じように教えてくれる頼もしい姿が見られました。

保護者の皆さまへ

子どもたちができるだけ混乱なく安心して過ごせるよう、状況に合わせて柔軟に運営を進めています。児童館長・エリアマネージャーとしても、子どもたちはもちろん、保護者の皆さまにも安心していただけるよう、引き続きしっかりとサポートしてまいります。